



平安神宮で写生をする少女たち 昭和22年(1947)4月(京都府京都市)



社会教育に携わる女性たち 昭和23年(1948)(香川県高松市)



製糸工場で働く女性 昭和22年(1947)1月(愛知県豊川市)

# 草の根の人びとと共に

—GHQ婦人問題担当官がみた日本—

平成30年

9.15<sub>土</sub> ~ 12.16<sub>日</sub>

会場: 昭和館2階ひろば  
開館時間: 10:00 ~ 17:30 (入館は17:00まで)  
休館日: 毎週月曜日 (祝休日の場合は翌日)  
後援: 千代田区・千代田区教育委員会

入場  
無料

# 草の根の人びとと共に

—GHQ婦人問題担当官がみた日本—



カルメン・ジョンソン(Carmen Johnson)は1910年(明治43)にウィスコンシン州で生まれ、北イリノイ州立教育大学を卒業後、教員やガールスカウトの指導者を務め、第二次世界大戦中は空軍で出版物や報告文書を扱う部署に勤務していました。

終戦の翌年、日本での勤務を命ぜられ7月26日にシアトルを出航、8月9日に日本に着きました。航海中、「日本とはどんな国で、日本人はどんな人びとだろうか」、また日本のいくつかの都市について「それらを見ることのできるだろうか」と初めて訪れる日本に思いをめぐらしたそうです。

空軍の仕事は1年契約で、名古屋の軍司令部でタイピストとして働きました。その後日本への関心が増し、軍政部(後に民事部)での仕事を望んだところ昭和22年(1947)8月から四国の地方軍政部に赴任することになりました。四国では婦人問題担当官として、民主主義や女性の地位向上のために市町村の婦人組織の会合や女性教員との懇談会に参加するなどしました。昭和26年(1951)2月まで日本に滞在し、担当業務に勤めました。

名古屋と四国での4年半の勤務のかたわら、週末などの休暇を利用して日本各地を訪れました。そこで触れることのできた風景、焼け跡からの復興の姿、人びとの生活の様子、子どもたちの笑顔、そして懸命に働く女性たちの姿などをカメラに収めていました。その数は700点を越えます。今回はその中から厳選した48点を展示していますので、ごゆっくりご覧ください。



1



2



3



5



4



6

1.子どもたち 昭和22年(1947)2月(静岡県熱海市) 2.アーミーホール(後の九段会館) 昭和21年(1946)8月(東京都千代田区) 3.紙芝居に集まる子どもたち 昭和24年(1949)(香川県高松市) 4.婦人たちの会合 昭和26年(1951)1月(香川県高松市) 5.ガールスカウト 昭和23年(1948)6月(愛媛県松山市) 6.瓦礫に残された金属回収された品々 昭和23年(1948)3月(香川県高松市) 7.英語クラスの生徒たちと 昭和21年(1946)12月(愛知県名古屋)



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1  
TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575  
ホームページ <http://www.showakan.go.jp>  
<https://twitter.com/showakankudan>  
<https://www.facebook.com/showakankudan/>



7

- 交通のご案内
  - 電車ご利用の場合 地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4出口) JR飯田橋駅から徒歩約10分
  - 車をご利用の場合 首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)
- 有料駐車場(30分200円) 普通乗用車専用駐車場がご利用になれます。